

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園・学校番号	1440411
施設名（園名等）	荏原学園旭幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

園庭の遊具でいろいろなことを知ろう

<テーマの設定理由>

新しく導入した園庭遊具（ぐるぐる林）は複数の登り方が設定されており、「どうしたら登れるかな」と園児自身が考えてできる方法から始めてみる。
簡単な方法で登れるようになったら、より難しい方法でもトライできるよう助言する。

2. 活動スケジュール

12月下旬 ぐるぐる林の導入

1月

- ・年長 ロープの梯子と登りロープにチャレンジ！
- ・年中 各個人が興味ある登り方にチャレンジ！
- ・年少 自分のペースでチャレンジ！

2月

- ・年長 ボルダリングにチャレンジ！
- ・年中 中段まで登って横にカニ歩きしてみよう！
- ・年少 中段まで登ることにチャレンジ

3月

- ・年長 ロープの梯子やのぼり棒を使って素早く登る
- ・年中 自分の力で「ここまで行けた」と達成感を味わおう
- ・年少 得意な登り方をみんなに見せよう！



3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・高いところでの姿勢、手の掛け方、足の置き方など、危険を察知できる子とそうでない子の違いが見える。
- ・順番を守る・譲り合う場面が自然に生まれる。
- ・登るのが得意でも降りるのが苦手、腕の力が弱い、バランスが不安定など、個々の発達段階がよく分かる。
- ・すぐに挑戦する子、慎重に様子を見る子、友だちの動きを見てから動く子など、性格や気質が表れる。
- ・最初は登れなかった子ができるようになるなど、達成感や成長の記録が取りやすい。



4. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

- ・必ず教諭が2名目を離さず様子を見守り危険な時や困っている時には助言をした。
- ・少し登れただけでも「できたよ！」と嬉しそうな表情が見られた。
- ・ロープの梯子はロープをつかんでいても後ろに傾くため、「先生助けてー」「怖いー」などの声が多かった。
- ・夢中になって何とか上るが、降りることができず「どうやっておりるの？」との声が多かった。
- ・ロープの梯子は一人だと揺れないが、他の園児が登り始めるとロープが揺れるため「今は登らないで」「降りるまで待って」など言葉で伝えるよう促した。
- ・ボルダリングは手足の使い方が難しいため、足の運びを同じ色で促し、安定しない園児には最初だけ体を支えた。
- ・最初は安定している鉄梯子のみの遊びだった園児が教諭とうまい使い方の指導を受け黙々とチャレンジし、3月には難しかったボルダリング、ロープの梯子、真ん中の登りロープなどのすべてのパートをクリアしていく様子も見られた。
- ・余裕が出て、ボルダリングの上に座り、遊具全体を電車や家に見立てごっこ遊びをする園児も見られた。
- ・友だちと「どっちから行く？」と相談したり、登り方を教え合ったりする姿も見られ、身体だけでなくコミュニケーションの力も育っていた。
- ・「ここまで行けるよ」「次はこうしてみよう」と、目標を決めて挑戦する姿には、年長さんらしい頼もしさが感じられた。